

解答

基本事項をまとめよう

- ① 時間距離 ② IC ③ 石油 ④ ハブ空港 ⑤ 格差 ⑥ サービス
 ⑦ 貿易摩擦 ⑧ 世界貿易機関 ⑨ 新幹線 ⑩ 高速交通網 ⑪ 放射状
 ⑫ 情報通信網 ⑬ インターネット ⑭ 鉄道 ⑮ 自動車

解答

問題にチャレンジ

- (1)ア 石油
 イ 半導体
 (2)① A
 ② オーストラリア
 (3)① せんい
 ②(例)日本国内で生産した製品を輸出する企業が減り、海外生産をして販売する日本企業が増えたから。

解説

- (1) 石油, 液化ガス, 石炭などの鉱産資源が海上輸送の輸入の主な品目である。
 (2)① 日本は、アジア州、特に中国との貿易額が大きく、衣類や電気機器などを中国から多く輸入している。貿易額(輸出額と輸入額の合計)が多い国・地域は、中国、アメリカ、韓国、オーストラリア、台湾などである。
 ② 日本はオーストラリアから石炭や鉄鉱石、液化ガスを多く輸入している。
 (3)① 1960年代には、日本ではせんい産業が盛んであった。しかし、工業の中心が機械に移り、現在ではせんいのしめる割合は低くなっている。
 ② 資料4から、2000年以降、自動車の海外生産の量が増えていることが分かる。これまでは国内で生産して輸出していたものが海外生産されることによって、輸出量が減ったと考えられる。

解答

- 1(1)① B
 ② X 対馬海流
 Y 季節風(モンスーン)
 (2) P エ
 Q ウ
 2(1)自動車:ウ
 船:ア
 (2) ウ
 (3)(例)自家用車の利用をひか
 えて、公共交通機関のバス
 や鉄道などを利用する。
 3(1) イ
 (2)① ウ
 ②(例)発電に使う燃料の輸
 入がしやすいので沿岸部
 ③ ウ

解説

- 1(1) Aは釧路, Bは金沢, Cは高松, D是那覇を指している。
 冬の気温の低さから, D的那覇ではないことが分かる。また,
 年降水量が2000mmをこえているので, 瀬戸内の気候であ
 るCの高松でもないと分かる。そして, 冬の降水量が多いの
 で, 太平洋側の気候であるAの釧路ではなく, 日本海側の気
 候であるBの金沢であると判断できる。
 (2) 夏の季節風は太平洋側から, 冬の季節風はユーラシア大陸
 側からふく。
 2(2) 太平洋ベルトの範囲にも原子力発電所は分布しているが,
 集中というほどではないので, ウが適切でない。
 3(1) 日本の人口ピラミッドは, 子どもの数が少なく, 高齢者の
 数が多い「つば型」である。世界有数の長寿国である日本は,
 高齢者の割合が増加する高齢化とともに, 子どもの数が減少
 する少子化が進んでおり, 世界のほかの国々と比べて, 少子
 高齢化の進み方が特に早い。
 (2)① 水力発電の割合が高いのでアがカナダ, 原子力発電の割
 合が高いのでイがフランスであるため, 残ったウが日本で
 あると判断できる。2010年の日本は原子力発電が25%を
 しめていたが, 2011年3月に起こった東日本大震災での原
 子力発電所の事故の影響で, 日本の発電量の内訳は火力の
 割合が高まっている。
 ② 火力発電は, 石炭や天然ガス, 石油などの燃料を海外か
 らの輸入に依存している。
 ③ せんいや自動車は工業の品目に当たるので, ウが適切で
 ある。